

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	5245
部名	生涯学習部	課名	青少年課	課長名	吉田 諭
事務事業名	青少年問題協議会				
予算上の事務事業名	青少年問題協議会経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14220		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第2節 青少年の健全育成				事業開始年度
施策名	第2施策 家庭・地域の教育力の充実と学校との連携強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	地方青少年問題協議会法、附属機関の設置に関する条例、相模原市青少年問題協議会規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	審議会・委員会・協議会 ▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)</p> <p>青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策に関し必要な重要事項を調査審議するとともに、総合的施策の実施のため関係行政機関相互の連絡調整を図ること。</p> <p>(2) 対象(誰、何)</p> <p>青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策</p> <p>(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。</p> <p>第1回 6月1日 出席委員数17名 (1)平成16年度青少年健全育成方針・重点目標について (2)平成16年度相模原市夏季青少年指導要綱について (3)最近の少年犯罪について ほか</p> <p>第2回 10月22日 出席委員数18名 (1)子どもの居場所について (2)最近の少年犯罪について (3)夜間街頭指導・相談状況について (4)社会を明るくする運動実施結果について ほか</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	A市 定数21 年間開催予定2回 予算額268千円				
7 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	346	279	279	316	316
一般財源	346	279	279	316	316
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	682	656	660	660	660
事業コスト合計(a)	1,028	935	939	976	976
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	青少年関係機関・団体の意見聴取及び連絡調整事業		対象名称(単位)	協議・報告事項(件数)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	1,028	935	939	976	976
対象数	13	16	16	20	20
単位あたり経費(円)	79,077	58,438	58,688	48,800	48,800
前年度比		0.74	1.00	0.83	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	回数	指標式と指標の説明		協議会の開催回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	2.0	3.0	2.0		
目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
目標達成度	1.00	1.50	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	出席率	指標式と指標の説明		協議会への委員の出席率	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	33.0	35.0	35.0		
目標	30.0	45.0	30.0	0.0	0.0
目標達成度	110.0	77.8	116.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		協議会の活性化を図るため、各委員相互の活発な意見交換を図る場にした。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
成果の向上にむけ、平成12年に委員数の削減、平成14年には委員選出団体の見直しを行ってきている。			青少年を取り巻く課題に対応するため、社会状況の変化に伴い選出委員の構成を適宜見直すこと。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		協議会の活性化を目指す。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			